

筑波大学特別支援教育連携推進グループ

令和7年度現職教員研修 研修成果報告会及び修了式の様子

(専門性向上コース・1年)

令和8年3月9日(月)、現職教員研修生・宮木沙絵先生(北海道帯広聾学校)の研修成果報告会及び修了式を行いました。東京キャンパスの会場で実施すると同時に、各附属特別支援学校へオンラインで配信しました。

宮木先生は、今年度1年間かけて取り組んできた「聴覚障害幼児同士のやりとりを育む指導者の関わり方に関する研究」について、まとめの発表をされました。附属聴覚特別支援学校幼稚部の授業動画から、先生方による子どもへの関わり方を統計的に分析し、学年ごとの傾向を考察されていました。分析したデータの量や、研究報告書に書かれた考察の量に対して、研修成果報告会での発表時間は非常に限られていましたが、その中で要点が聞き手に伝わるようによくまとめられた内容となっていました。

質疑応答の時間には、分析したデータについて、学年ごとの傾向をより詳細に問うような質問が出ました。宮木先生自身が真摯にデータと向き合い、本研究について誰よりも深く理解していることが、回答の様子から伝わってきました。また、健聴の子どもとの違いについての質問もあり、聴覚障害教育における配慮点について改めて考える貴重な機会になったのではないかと思います。

附属学校教育局次長の梶山先生からは、「これまで経験則で行われていた指導実践を、科学的な根拠に基づいて考察されたことには大きな意義がある。今回の成果を次は北海道での指導実践にフィードバックし、活かしてほしい」というご講評をいただきました。その話を受けて宮木先生も、「1年間の学びを北海道の先生方や子どもたちに還元していきたい」と意気込みを述べられていました。

1年間の現職教員研修も、残すところあとわずかとなりました。本研修の実施に際しては、多方面の方々にご協力をいただいてきました。長期間の実践実習を受け入れてくださった附属聴覚特別支援学校の皆様、報告会にご参加くださった各附属特別支援学校の皆様、快く見学を受け入れてくださった各学校及び各施設の皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

残りの研修期間、宮木先生は、これまでの講義や見学、授業実践など研修全体を通して得られた学びに関する報告書をまとめていかれます。また、3月16日(月)には附属桐が丘特別支援学校の見学も予定されています。最後まで充実した時間を過ごしていただきたいと思います。



研修成果を発表される宮木先生



講評を述べられる梶山先生



修了証書授与



研修成果報告会及び修了式を終えて 記念写真撮影



研修成果報告会及び修了式の様子